



## 2021年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年5月11日

上場会社名 株式会社CSSホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 2304 URL <http://www.css-holdings.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田口 泰一  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 岩崎 善彦 TEL 03-6661-7840  
 四半期報告書提出予定日 2020年5月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年9月期第2四半期の連結業績（2020年10月1日～2021年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第2四半期	5,028	△36.0	△273	△201.9	96	△67.5	△112	△162.1
2020年9月期第2四半期	7,860	△20.4	268	△39.9	297	△32.3	181	967.3

(注) 包括利益 2021年9月期第2四半期 △97百万円 ( △176.7%) 2020年9月期第2四半期 127百万円 ( △926.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第2四半期	△22.35	—
2020年9月期第2四半期	36.01	35.68

(注) 2021年9月期第2四半期の潜在株式数調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第2四半期	5,278	2,454	46.5
2020年9月期	5,604	2,573	45.9

(参考) 自己資本 2021年9月期第2四半期 2,454百万円 2020年9月期 2,573百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2021年9月期	—	0.00	—	—	—
2021年9月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年9月期の連結業績予想（2020年10月1日～2021年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,317	△13.8	△301	△71.9	22	△91.2	△185	△891.1	△36.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年9月期2Q	5,285,600株	2020年9月期	5,285,600株
② 期末自己株式数	2021年9月期2Q	218,870株	2020年9月期	232,070株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年9月期2Q	5,049,178株	2020年9月期2Q	5,049,502株

期末自己株式数には、株式給付信託が保有する当社株式（2021年9月期2Q 133,500株、2020年9月期末146,700株）が含まれております。また、当該信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。（2021年9月期2Q 133,500株、2020年9月期2Q 146,700株）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

現時点における当期の連結業績予想は、2021年2月15日に公表したもののから変更はありません。（当該業績予想については、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、不確定な要素を含んでおります。そのため、事業環境をはじめとする様々な要因の変化により、実際の業績はこれと異なる可能性があります。）

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大により第2回緊急事態宣言が発出され、観光支援の各種施策が停止されたこともあり、当社グループの主要顧客であるホテル、商業施設においては依然その影響を受け、来客数の激減や自粛要請に伴う各種イベントの中止等が相次ぎ、当社グループにおいても厳しい事業環境が続きました。

このような環境下にあつて当社グループは、先の見通せない厳しい事業環境を勘案し、売上の確保を第一に、新たな顧客層の開拓に注力いたしました。また、雇用調整助成金の特例措置を活用することで、雇用の維持に努めました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における連結売上高は5,028百万円（前年同期比36.0%減）、連結営業損失は273百万円（前年同期は営業利益268百万円）、連結経常利益は96百万円（前年同期比67.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失は112百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益181百万円）となりました。

国内外の移動規制や飲食店への営業自粛要請等により景気は低迷し、四半期報告書提出日時点においても、厳しい経営環境が継続することが見込まれ、当社グループにおいても引続き厳しい事業環境となることを見込まれます。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメント別の経営成績の業況は以下のとおりです。

#### ① スチュワード事業

当事業は、ホテル・レストランを中心として食器洗浄及び管理業務を全国展開する当社グループの中核事業です。

当第2四半期連結累計期間においては、第2回目の緊急事態宣言発出により主要顧客であるホテル商況が悪化した影響により当第2四半期の売上高は当初見込み93%に留まりました。

このような中、新規案件に向けての営業活動に注力し、当第2四半期連結累計期間に新たに大規模病院の食器洗浄業務を1件獲得、第4四半期の売上高に寄与する見込みとなっております。

費用面においては、雇用の安定、確保の方針のもと、社員・パート・アルバイトの休業補償を人件費として計上したことにより、第1四半期に引続き営業損失となりました。

この結果、売上高は1,792百万円（前年同期比50.7%減）、営業損失は225百万円（前年同期は営業利益154百万円）となりました。

下期についても、当事業を取り巻く環境は非常に厳しい状況が継続することが予想されます。そのような中、既存顧客をターゲットにしたウィズコロナ、アフターコロナにおける衛生清掃業務の推進、清掃事業の売上拡大に備えて従業員の専門資格取得支援制度の構築等を図り、新たな顧客獲得に向けた攻めの営業を展開し、売上、利益の確保に努めてまいります。

#### ② フードサービス事業

当事業は、従業員食堂・レストラン運営の受託事業及び受託給食事業を全国展開しております。

当第2四半期連結累計期間においては、緊急事態宣言の発出によるホテルの休館、レストランへの時短営業要請による来客数の激減により、受託案件の契約内容の見直しや契約終了等、当セグメントにおいても売上高は当初見込みを下回って推移しました。

このような中、新規顧客を獲得すべく営業活動に注力し、当第2四半期連結累計期間において新たに老健施設1件、ホテル内レストラン2件、従業員食堂1件の獲得により失注分のカバーに努めました。

費用面においては、開業準備費用や就労の継続にかかる人件費等により、当初見込みを上回って推移しました。

また、新たな取組みとして、顧客満足度の向上を目指すべく販売品目の拡充、並びに本年6月に施行されるHACCPに沿った衛生管理のコンサルタント事業を推進しております。

この結果、売上高は914百万円（前年同期比34.5%減）、営業損失は60百万円（前年同期は営業利益13百万円）となりました。

下期についても、攻めの営業を継続し、売上確保、雇用の継続に努めてまいります。

#### ③ 空間プロデュース事業

当事業は、映像・音響・放送・セキュリティーに関する設計・施工・販売・管理・メンテナンスに加え、BGM及びフレグランスによるブランディングを提案する空間プロデュース事業としてセグメントを構成いたします。

当第2四半期連結累計期間においては、コロナ禍の影響によりホテル・商業施設を顧客とするサウンド・センサリー部門で売上高が縮小したものの、一般法人部門において大型物流倉庫の防犯設備、放送設備の設計・施工案件を獲得、また、音響機器販売部門においては高利益率商材やEコマースを活用した販売活動に注力する等、新たな顧客層への積極的な営業活動により、売上高については当初見込みに僅かに届かなかつたものの、営業利益については当初見込みを上回ることができました。

費用面においては、コロナ禍における配送費の削減やその他経費の圧縮を図り、当初見込みを抑えることが出来ました。

この結果、売上高は2,304百万円（前年同期比17.9%減）、営業利益は73百万円（前年同期比28.0%減）となりました。

下期については、売上・収益力の維持、継続に向け、サーマルカメラの顔認証システムやAVネットワークシステム等の医療市場へのアプローチを図るとともに、1月に開始したMVNO（仮想移動体通信事業者）事業を推進し、継続的に収益をあげるサブスクリプションビジネスとしての発展を目指してまいります。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の状況

#### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末と比べて326百万円減少し、5,278百万円となりました。資産の増減の内訳は流動資産が418百万円の減少となりました。主な要因は、現金及び預金346百万円の減少、未収入金180百万円の減少によるものであります。固定資産については91百万円の増加となりました。主な要因は、投資有価証券73百万円の増加によるものであります。

#### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べて208百万円減少し、2,823百万円となりました。負債の増減の内訳は流動負債が169百万円の減少となりました。主な要因は賞与引当金30百万円の減少、未払金86百万円の減少、未払法人税等50百万円の減少によるものであります。固定負債については39百万円の減少となりました。主な要因は長期借入金55百万円の減少によるものであります。

#### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べて118百万円減少し、2,454百万円となりました。主な要因は親会社株主に帰属する四半期純損失112百万円の計上による利益剰余金の減少、剰余金の配当26百万円による利益剰余金の減少、その他有価証券評価差額金が14百万円増加したことによるものであります。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末より346百万円減少し、802百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純損失が119百万円となり、売上債権の増加169百万円、未払金の減少87百万円等により、使用した資金は272百万円（前年同期は315百万円の取得）となりました。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、短期貸付金の回収による収入40百万円等により、得られた資金は21百万円（前年同期は31百万円の使用）となりました。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出55百万円、配当金の支払い26百万円等により、使用した資金は96百万円（前年同期は227百万円の使用）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点における当期の連結業績予想は、2021年2月15日に公表したのから変更はありません。（当該業績予想については、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、不確定な要素を含んでおります。そのため、事業環境をはじめとする様々な要因の変化により、実際の業績はこれと異なる可能性があります。）

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,149,207	802,454
受取手形及び売掛金	1,192,830	1,362,424
有価証券	50,367	—
商品及び製品	384,697	411,529
仕掛品	53,920	50,871
原材料及び貯蔵品	10,633	17,713
未収入金	204,743	24,195
その他	173,738	141,174
貸倒引当金	△492	△9,261
流動資産合計	3,219,646	2,801,102
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	937,899	954,504
減価償却累計額	△490,371	△505,782
建物及び構築物(純額)	447,527	448,721
土地	951,628	951,628
その他	184,238	194,620
減価償却累計額	△135,243	△144,283
その他(純額)	48,994	50,336
有形固定資産合計	1,448,151	1,450,687
無形固定資産		
のれん	38,869	35,674
その他	92,602	84,400
無形固定資産合計	131,471	120,075
投資その他の資産		
投資有価証券	408,954	482,190
繰延税金資産	213,169	226,615
その他	184,100	198,193
貸倒引当金	△509	△533
投資その他の資産合計	805,714	906,465
固定資産合計	2,385,337	2,477,227
資産合計	5,604,984	5,278,330

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	410,810	488,217
短期借入金	450,000	450,000
1年内返済予定の長期借入金	110,000	110,000
未払金	536,270	449,695
未払法人税等	64,873	13,977
賞与引当金	141,527	110,800
その他	303,570	225,125
流動負債合計	2,017,051	1,847,815
固定負債		
長期借入金	655,000	600,000
リース債務	61,216	46,709
退職給付に係る負債	261,288	275,132
株式給付引当金	12,409	6,788
長期未払金	22,544	43,631
資産除去債務	721	721
その他	1,500	2,637
固定負債合計	1,014,679	975,620
負債合計	3,031,731	2,823,436
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	393,562	393,562
資本剰余金	279,306	279,306
利益剰余金	1,933,494	1,794,637
自己株式	△96,122	△90,605
株主資本合計	2,510,240	2,376,901
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	63,012	77,992
その他の包括利益累計額合計	63,012	77,992
純資産合計	2,573,252	2,454,893
負債純資産合計	5,604,984	5,278,330

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
売上高	7,860,842	5,028,560
売上原価	6,467,713	4,322,791
売上総利益	1,393,129	705,768
販売費及び一般管理費	1,124,751	979,292
営業利益又は営業損失(△)	268,378	△273,523
営業外収益		
受取利息	665	729
受取配当金	10,250	2,853
受取賃貸料	4,622	4,682
為替差益	11	—
物品売却益	11,862	—
雇用調整助成金	—	348,201
その他	8,658	23,706
営業外収益合計	36,070	380,171
営業外費用		
支払利息	6,306	5,385
支払手数料	1,060	1,347
為替差損	—	3,055
その他	1	265
営業外費用合計	7,368	10,054
経常利益	297,079	96,593
特別損失		
固定資産除却損	0	0
投資有価証券評価損	—	52
役員退職慰労金	—	215,590
特別損失合計	0	215,642
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	297,079	△119,048
法人税、住民税及び事業税	88,538	12,516
法人税等調整額	26,721	△18,709
法人税等合計	115,259	△6,193
四半期純利益又は四半期純損失(△)	181,820	△112,855
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	181,820	△112,855



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	181,820	△112,855
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△54,174	14,979
その他の包括利益合計	△54,174	14,979
四半期包括利益	127,646	△97,875
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	127,646	△97,875
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	297,079	△119,048
減価償却費	37,745	37,505
固定資産除却損	—	0
のれん償却額	3,194	3,194
投資有価証券評価損益(△は益)	—	52
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,579	8,792
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	14,178	13,844
賞与引当金の増減額(△は減少)	△57,351	△30,727
受取利息及び受取配当金	△10,915	△3,582
支払利息	12,613	5,385
物品売却益	△11,862	—
助成金収入	—	△348,201
売上債権の増減額(△は増加)	100,676	△169,593
たな卸資産の増減額(△は増加)	△36,940	△30,864
仕入債務の増減額(△は減少)	55,411	77,407
未払金の増減額(△は減少)	△128,796	△87,058
未払又は未収消費税等の増減額	39,159	△26,121
その他	19,104	△22,445
小計	331,720	△691,458
利息及び配当金の受取額	10,773	3,476
利息の支払額	△12,603	△4,984
物品売却による受取額	11,862	3,300
助成金の受取額	—	530,992
法人税等の支払額	△116,685	△117,797
法人税等の還付額	90,711	4,155
営業活動によるキャッシュ・フロー	315,778	△272,316
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△3,275	△53,138
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	—	50,000
有形固定資産の取得による支出	△7,834	△4,249
無形固定資産の取得による支出	△7,886	△4,316
敷金及び保証金の差入による支出	△9,843	△12,954
敷金及び保証金の回収による収入	2,382	597
保険積立金の解約による収入	—	3,000
短期貸付金の回収による収入	—	40,000
その他	△5,005	2,730
投資活動によるキャッシュ・フロー	△31,462	21,670
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の増減額(△は減少)	△100,000	—
長期借入金の返済による支出	△55,000	△55,000
配当金の支払額	△51,686	△26,064
その他	△20,775	△15,042
財務活動によるキャッシュ・フロー	△227,462	△96,106
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	56,852	△346,753
現金及び現金同等物の期首残高	807,512	1,149,207
現金及び現金同等物の四半期末残高	864,365	802,454

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年10月1日至2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	スチュワード 事業	フード サービス 事業	空間 プロデュース 事業	計				
売上高								
(1)外部顧客に 対する売上高	3,637,954	1,392,402	2,805,249	7,835,606	25,236	7,860,842	—	7,860,842
(2)セグメント 間の内部売上高 又は振替高	780	3,047	3,076	6,903	168,396	175,299	△175,299	—
計	3,638,734	1,395,449	2,808,326	7,842,510	193,632	8,036,142	△175,299	7,860,842
セグメント利益	154,119	13,770	102,721	270,611	17,443	288,054	△19,675	268,378

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、総務・人事・経理管理事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△19,675千円は、全社利益及びセグメント間取引消去等の額によるものであります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自2020年10月1日至2021年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	スチュワード 事業	フード サービス 事業	空間 プロデュース 事業	計				
売上高								
(1)外部顧客に 対する売上高	1,792,103	914,395	2,301,369	5,007,868	20,692	5,028,560	—	5,028,560
(2)セグメント 間の内部売上高 又は振替高	780	294	2,947	4,022	138,960	142,982	△142,982	—
計	1,792,883	914,689	2,304,317	5,011,890	159,652	5,171,542	△142,982	5,028,560
セグメント利益 又は損失(△)	△225,384	△60,068	73,931	△211,521	2,394	△209,126	△64,396	△273,523

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、総務・人事・経理管理事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△64,396千円は、全社利益及びセグメント間取引消去等の額によるものであります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(重要な後発事象)

(雇用調整助成金収入)

当社は、新型コロナウイルスの影響により従業員の休業に伴う雇用調整助成金の交付申請をし、交付受給額及び見込額は以下のとおりであります。

(1) 当該助成金の交付申請額 143,160千円 (2021年5月10日時点)

(2) 上記のうち、助成金の受給額

① 助成金の入金日 2021年5月1日～2021年5月10日

② 助成金の受給額 1,788千円

(3) 損益に与える影響 2021年9月期第3四半期連結会計期間以降において、営業外収益で計上いたします。